

【試合結果】									
2017年4月30日(sun) 13:50～									
会場	網走総合体育館								
	北見小泉	71	18 - 14 14 - 22 14 - 23 25 - 22 -				81	北見南	
審判	主審	小池 信宏	副審	宇野 貞嘉					



【個人トータル表】 ×=スターティングメンバー / =出場選手 空欄=出場なし

北見小泉									
NO	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	FT	DR	OR	反則
4	熊谷 郁飛	×	12	1	4	1	1	0	0
5	岩間 純人								
6	白河 啓太								
7	伊藤 一真	×	7	1	2	0	7	3	0
8	鈴江 薫	×	29	5	7	0	4	0	0
9	二本松 理玖	/	0	0	0	0	1	0	0
10	横田 大地	×	17	0	8	1	0	0	0
11	奥口 文月								
12	金谷 翔一								
13	大平 飛時								
14	櫻庭 颯								
15	野原 光世								
16	児玉 健太	×	6	0	3	0	2	1	0
17	松本 優翔								
18	森 空遠	/	0	0	0	0	1	1	0
C	麻島 奈緒								
合計			71	7	24	2	16	5	0

北見南									
NO	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	FT	DR	OR	反則
4	菅原 志温	×	32	4	10	0	4	0	0
5	与羽 慎平	×	8	0	3	2	4	1	0
6	笠原 新史	×	2	0	1	0	1	0	0
7	高岡 旺佑	/	9	0	4	1	2	0	0
8	保科 太良	×	15	0	7	1	5	2	0
9	柏葉 賢太	/	4	0	2	0	0	0	0
10	村林 富士	×	0	0	0	0	0	0	0
11	竹内 大翔								
12	二神 翔	/	2	0	1	0	0	0	0
13	乾 康平								
14	伊藤 温生								
15	齋藤 叶維								
16	伊藤 航	/	9	1	3	0	1	0	0
17	岩船 零								
18									
C	木村 裕樹								
合計			81	5	31	4	17	3	0

3P=3ポイントシュート 2P=2ポイントシュート FT=フリースロー DR=ディフェンスリバウンド OR=オフェンスリバウンド

【ゲームレポート】

1P 小泉④, ⑦, ⑧, ⑩, ⑯ 北見南④, ⑤, ⑥, ⑧, ⑩でスタート。ディフェンスはお互いハーフマンツー。小泉は⑧を起点に得点を重ねるも北見南④の3pで反撃。2分間スコアが動かないものの小泉⑧の3pをきっかけに北見南⑧のドライブなどお互いに持ち味を出し始める。残り3分北見南⑤に替えて⑩を投入するも一進一退の状況は変わらず。ラスト10秒小泉⑧がローポストからの1対1を決め、18-14で小泉リードで1P終了。

2P 小泉④, ⑦, ⑧, ⑩, ⑯ 北見南④, ⑤, ⑦, ⑧, ⑯でスタート。開始早々北見南④が3pを沈め差を縮める。小泉もインサイドから加勢し反撃するも再び北見南④の3pで逆転。波に乗りたい北見南だがターンオーバーなどミスが続き、いまいち流れが掴めない。残り1分30秒、北見南⑦に替えて⑩を投入。残り40秒北見南⑤に替えて⑥を投入。32-36北見南リードで2P終了。

3P 小泉④, ⑦, ⑧, ⑩, ⑯ 北見南④, ⑤, ⑥, ⑧, ⑩でスタート。後半に入り北見南がディフェンスのプレッシャーを強めよい形で速攻を繰り出す。5分30秒小泉タイムアウト。しかし、北見南もペイントエリア付近のディフェンスを厚く守り、一進一退の攻防が続く。足が動き出した北見南、立て続けに速攻を決める。小泉は⑧の3pで追いつくも勢いは止められず。46-59と北見南がリードを広げ

4P 小泉④, ⑦, ⑨, ⑩, ⑯ 北見南④, ⑤, ⑦, ⑧, ⑯でスタート。追いつけたい小泉はディフェンスのラインをやや高めにし北見南にプレッシャーをかけターンオーバーを誘う。しかし北見南も負けじと速攻を繰り出し反撃を許さない。最後まで諦めない小泉は残り1分30秒でオールコートプレス仕掛けするも、71-81で北見南の勝利。スコアが示すよう両チームのオフェンス力を発揮したゲームとなった。しかしその分ディフェンスの課題が浮き彫りとなった試合とも言えよう。中体連までに修正し健闘してくれることを期待する。

記録: